

改修用避難ハッチ
セクールII
SECOURS II

・ **採寸要項** ・

採寸前に必ずお読みください。

松本工業株式会社

はじめに

改修用ハッチは既設ハッチの一部を残しながらカバーする工法(図1)で取り付けますので、現状の細かな採寸が必要です。採寸が正しく行われていないと現場での施工に支障をきたしますので充分お気をつけください。

改修ハッチは採寸が大きなポイント

現地での施工がスムーズに行くかどうかは、採寸が正しく行われているかどうかで決まります。

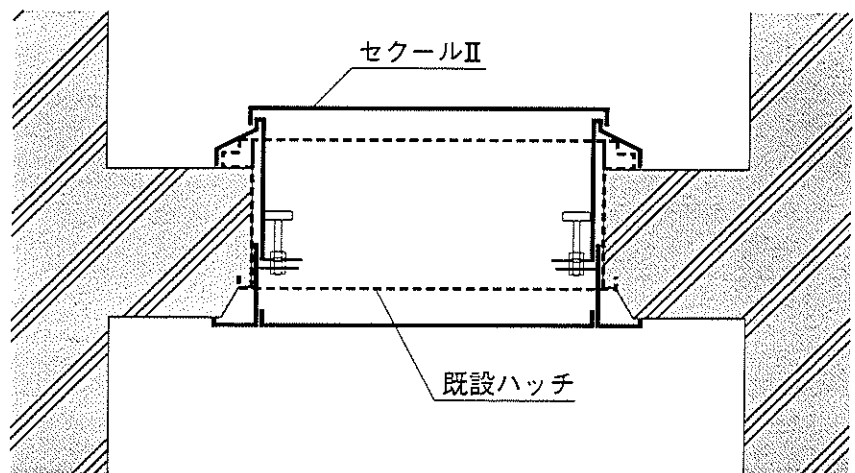
既設ハッチ本体のサイズは同一であっても各階にあるハッチのおさまり具合は一定していませんので、一台一台の確認が必要です。

「採寸要項」に従って正確な採寸を行い、別紙の「採寸表」に数値を記入してください。

既設ハッチを利用した簡単工法

改修ハッチセクールIIは上枠と下枠を既設ハッチに上下からサンドイッチするカバー工法です。

【図1】標準おさまり図



※ハッチの高さは±30mm程度調整が可能です。

準備するもの

採寸に必要な道具は下記の通りです。

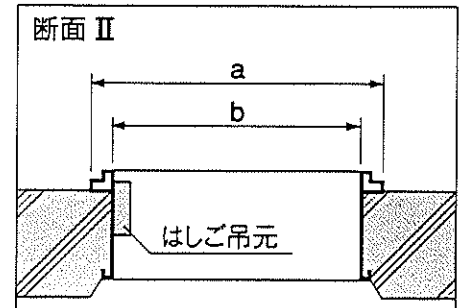
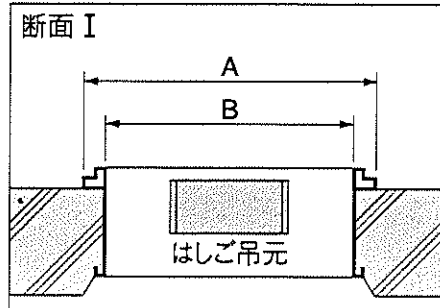
採寸時に落下災害などない様、保護具を着用し安全に気をつけてください。

※複雑な現場は採寸表に加え、写真を送ってください。

1. 採寸表(別紙)
2. スケール(巻き尺)
3. 差し金
4. 直尺
5. 脚立

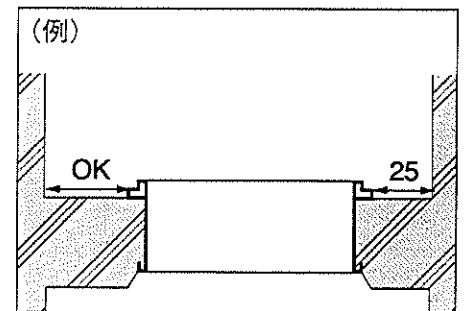
1. ハッチ上部の採寸

- (1) ハッチ上枠の外形寸法を測ります。(採寸表 A・a)
- (2) ハッチ開口部の寸法を測ります。(採寸表 B・b)



2. 上枠周囲の 取り合い採寸

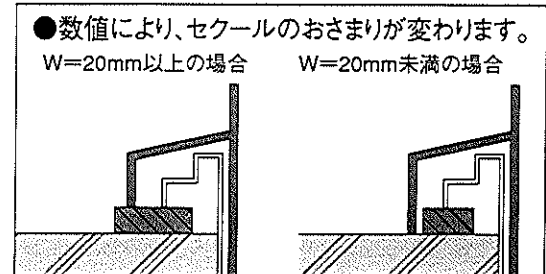
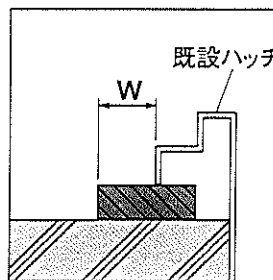
- (1) 上枠周囲の取り合い寸法を測ります。
(採寸表 C・D・c・d)
- 取り合いに問題がない場合
(30mm以上)は採寸表の()内
にOKと記入してください。



○特殊な場合 ハッチ上部が特殊な場合、下記箇所の寸法を採寸してください。

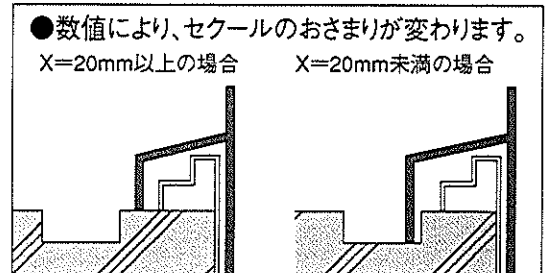
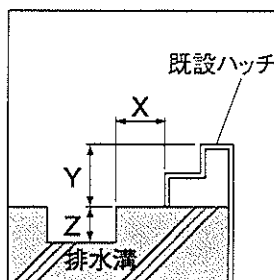
1. ハッチとスラブの間に段がある場合

幅方向の出っ張り寸法Wを測ります。



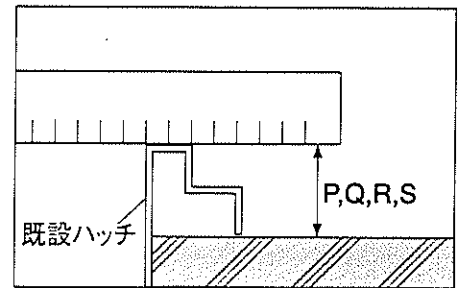
2. 既設ハッチの側に排水溝が設けられている場合

C・D・c・dのどの位置に溝があるのかを明記の上、寸法X・Y・Zを測ります。

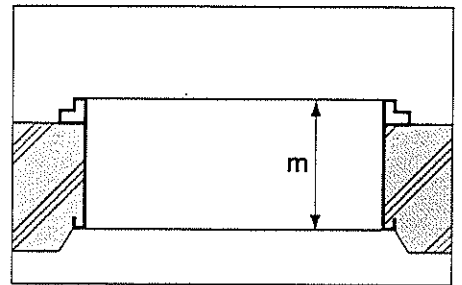


3.ハッチ高さの採寸

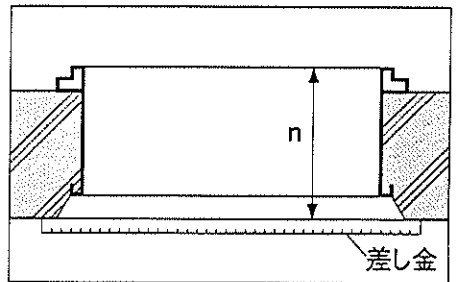
- (1) スラブからハッチ枠コーナー天端までの高さを、差し金、平尺などを用いて4方向の高さを測ります。
4方向の高さは同じとは限りませんので、必ず4方向を測ってください。
(採寸表P・Q・R・S)
※必ずコーナー部を測ってください



- (2) ハッチ本体の高さを測ります。
(採寸表 m)

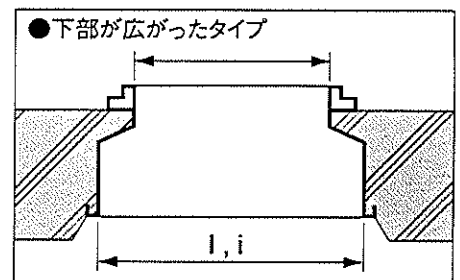


- (3) スラブ下端からハッチ天端までの高さを測ります。差し金、直尺などを使用すると正確に測定できます。
(採寸表 n)

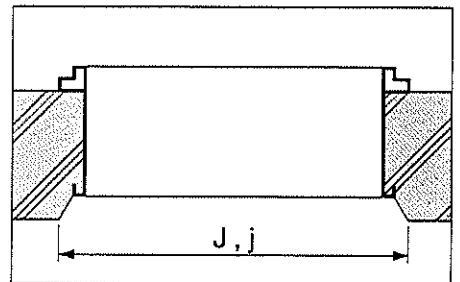


4.ハッチ下部の採寸

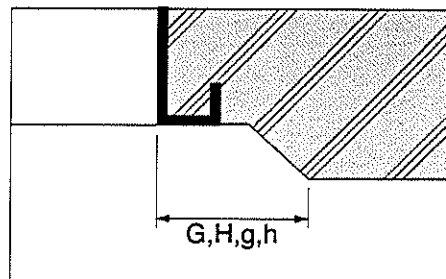
- (1) ハッチ開口部(下部)を測ります。
(採寸表 l・i)
通常、上部と同寸法となりますが、メーカーにより下部が広がったタイプがありますので必ず測ってください。



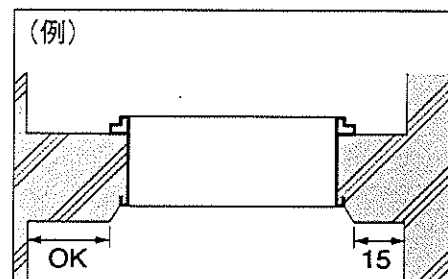
- (2) ハッチ切りかき幅を測ります。
(採寸表 J・j)



(3) 切りかき部の幅を測ります。
(採寸表 G・H・g・h)



(4) 下枠周囲の取り合い寸法を測ります。
(採寸表 E・F・e・f)
取り合いに問題がない場合 (30mm
以上) は、OKと記入してください。



採寸にて御不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
(株)フレックス TEL 093-931-0911